

常任委員会 活動レポート

5つの常任委員会では、議案の審査だけでなく、市民生活に深くかかわる課題について調査研究を行っています。令和5年度の実績状況をご紹介します。



総合政策委員会

持続可能で魅力ある 都市農業の確立に向けて

本市では農業生産が活発に行われていますが、農地の減少や農業者の高齢化の課題も抱えています。一方、有機農業を志す就農者も増えており、マルシェや学校給食での地産地消の取組も進んでいます。市内の若手農業者との意見交換会や福岡市、久留米市、佐賀市への視察で経営多角化や全農の栽培技術開発などを学んできました。



久留米市の若手農業者による農業経営安定化の取組を視察(11月)

文教委員会

人生100年時代の学びと地域づくり 社会教育の役割とは

社会教育は、課題解決のためのWeの学びです。私たちは那覇市の若狭公民館を視察し、年齢、性別、障がい、国籍にかかわらず、だれもが学び合い、つながり合いながら地域課題に取り組む様々な事業の知見を学びました。さらに2月にはオープン委員会を開催し、市民からの実践事例を通じ社会教育の視点が街づくりに必要であると発信しました。



沖縄県では美ら島沖縄学講座などの特色ある取組を調査(10月)

市民生活委員会

脱炭素の取組の加速で 公民学のグリーン共創を推進

「脱炭素社会に向けた取組」をテーマに、札幌市の公有施設などのZEB(Net Zero Energy Building)化や北海道の再生可能エネルギーの先進事例を調査しました。脱炭素先行地域として、本市が2030年までに目指す地域脱炭素の取組を加速させるべく、今後もさいたま発の公民学によるグリーン共創を後押しできるよう支援していきます。



札幌市の脱炭素社会に向けた取組を調査(11月)

保健福祉委員会

デジタル技術で 楽しい子育て環境の実現へ

本市では、子育て世帯の負担を少しでも軽くするため、LINEやAIチャットボットの活用を進めてきました。委員会では、子育てDXの先進自治体を調査し、病児保育、一時保育のオンライン予約や、子どもの成長記録、家族間の情報共有、予防接種スケジュールの自動生成機能などを持った子育て支援アプリについて研究しました。



松山市ではアプリの画面を見ながら機能などを調査(11月)

まちづくり委員会

ひと&空間がつながる 居心地の良いまちづくりのために

本委員会では、地域を巻き込んだまちづくりをしている仙台市と弘前市を視察しました。両市では、市と地域の多様な主体がともに課題共有や意見交換を行い、にぎわいづくりのために新たなイベントや事業を行い、地域の課題解決に向け取り組んでいました。本市においても多様な主体がともに担い手として活動できる場が望まれます。



仙台市では定禅寺通の活性化事業などを調査(11月)